

【2011年3月期決算記者会見資料】

①契約の状況等

		2010年3月期	2010年9月期	2011年3月期
新契約年換算保険料	(百万円)	55,040 (33.3%増)	671 (97.3%減)	1,382 (97.5%減)
うち第三分野	(百万円)	— (—)	— (—)	— (—)
保有契約年換算保険料	(百万円)	183,133 (36.0%増)	179,681 (14.3%増)	176,347 (3.7%減)
うち第三分野	(百万円)	4,983 (9.4%減)	4,746 (9.4%減)	4,522 (9.3%減)
保険料等収入	(百万円)	323,450 (31.6%増)	18,025 (87.6%減)	38,619 (88.1%減)
うち個人保険分野	(百万円)	314,182 (32.1%増)	17,224 (87.8%減)	36,965 (88.2%減)
うち団体保険分野	(百万円)	2,079 (22.9%減)	768 (24.8%減)	1,585 (23.8%減)
新契約高	(百万円)	296,634 (37.2%増)	9,398 (92.9%減)	21,716 (92.7%減)
保有契約高	(百万円)	2,289,590 (8.0%増)	2,160,958 (1.7%減)	2,102,732 (8.2%減)
解約・失効高	(百万円)	114,436 (15.4%減)	52,931 (7.0%減)	100,176 (12.5%減)
解約・失効率	(%)	5.40 (0.58% [*] イト低下)	2.31 (0.37% [*] イト低下)	4.38 (1.02% [*] イト低下)

※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険であります。

※括弧内は前年同期比増減率(解約・失効率は増減率^{*} イト)であります。

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険であります。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等)であります。

※保険料等収入は損益計算書ベースであります。

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金保険、団体保険分野は団体保険＋団体年金保険の合計保険料であります。

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出(2010年9月期の解約・失効率は年換算前)しております。

②資産の状況等

		2010年3月末	2010年9月末	2011年3月末
総資産	(百万円)	1,469,522 (25.5%増)	1,425,277 (8.2%増)	1,415,005 (3.7%減)
実質純資産額	(百万円)	90,510 (3.8%増)	98,553 (5.8%増)	90,640 (0.1%増)
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	18.8 (1.7% [*] イト増)	20.3 (1.3% [*] イト増)	18.7 (0.1% [*] イト減)
ルバソニー・マージン比率	(%)	646.0 (190.8% [*] イト低下)	629.6 (135.0% [*] イト低下)	611.2 (34.8% [*] イト低下)
(参考) 新基準によるルバソニー・マージン比率	(%)	— (—)	— (—)	571.1 (—)

※括弧内は前年同期比増減率(実質純資産額／一般勘定資産及びルバソニー・マージン比率は増減率^{*} イト)であります。

③基礎利益・逆ざや・利回り等

		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期予想
基礎利益	(百万円)	21,462 (—)	△4,823 (—)	13,000

※括弧内は前年同期比増減率であります。

		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期予想
逆ざや額	(百万円)	3,466 (185減)	3,207 (258減)	2,000

※括弧内は前年同期比増減率であります。

		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	%	0.94 (0.94)	1.04 (1.00)	1.6程度 (1.0程度)
運用利回り(一般勘定)	%	△5.26 (0.84)	1.92 (0.91)	0.3程度 (0.9程度)
平均予定利率	%	1.79 (1.79)	1.85 (1.80)	2.1程度 (1.7程度)

※基礎利益上の運用収支等の利回り及び平均予定利率の括弧内には、外国為替参照型商品を除いた数値を、運用利回り(一般勘定)の括弧内には、外国為替参照型商品及び金銭の信託運用損益(主に変額個人年金保険の最低保証リスクに対するヘッジ取引)を除いた数値をそれぞれ記載しております。

④準備金

		2010年3月末	2010年9月末	2011年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	1,388,763 (298,587増)	1,344,706 (110,961増)	1,334,775 (53,987減)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	398,171 (30,368減)	405,377 (307増)	404,698 (6,527増)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	990,592 (328,956増)	939,328 (110,654増)	930,076 (60,515減)
価格変動準備金	(百万円)	387 (45減)	398 (38減)	404 (16増)
危険準備金	(百万円)	26,822 (9,314増)	30,389 (8,693増)	33,900 (7,078増)
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	8,636 (3,350増)	8,657 (1,669増)	8,750 (113増)
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	— (—)	100 (100増)	267 (267増)
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	17,716 (5,904増)	21,172 (6,893増)	24,514 (6,797増)
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	468 (59増)	459 (30増)	368 (100減)
危険準備積立金	(百万円)	— (—)	— (—)	— (—)
価格変動積立金	(百万円)	— (—)	— (—)	— (—)

※危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載しております。

※括弧内は前年同期比増減実額であります。

⑤含み損益

		2010年3月末	2010年9月末	2011年3月末
有価証券	(百万円)	3,089 (90増)	11,273 (7,149増)	5,083 (1,994増)
うち国内株式	(百万円)	— (—)	— (—)	— (—)
うち国内債券	(百万円)	2,972 (25減)	11,201 (7,140増)	4,957 (1,984増)
うち外国証券	(百万円)	— (—)	— (3増)	— (—)
不動産	(百万円)	— (—)	— (—)	— (—)

※括弧内は前年同期比増減実額であります。

⑥運用実績と計画

		2010年度実績	2011年度計画
国内株式	(百万円)	0減	市場金利の変動に対して資産と負債のキャッシュ・フローの中立化を可能とするため、保険商品の特性に合わせ、確定利付資産によるキャッシュ・フロー・マッチを主体とした運用を行ってまいります。
国内債券	(百万円)	21,625減	
外国株等	(百万円)	—	
外国債券	(百万円)	—	
不動産	(百万円)	259減	

※2010年度実績は帳簿価額ベースでの増減額を記載しております。

⑦資産の含み損益がゼロになる水準(2011年3月末時点)

		2011年3月末
日経平均株価	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
TOPIX	(ポイント)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内債券	(%)	1.5%程度
外国証券	(円)	外国証券を保有していないため算出しておりません。

※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出してしております。

⑧2012年3月期の業績見通し

		2012年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	240,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	180,000
保有契約高	(百万円)	2,130,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出

		総額
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	— (—)
劣後ローン等	(百万円)	— (—)

ii 銀行への拠出

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	— (—)
劣後ローン等	(百万円)	11,998 (0増)

※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後債であります。

⑩職員数

		2010年3月末	2010年9月末	2011年3月末
営業職員	(人)	— (—)	— (—)	— (—)
内勤職員	(人)	330 (2.9%減)	335 (2.1%減)	335 (1.5%増)

※括弧内は前年同期比増減率であります。

⑪銀行窓販の状況

			2010年3月期	2011年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	42,700 (19.1%増)	89 (99.8%減)
	金額(収入保険料)	(百万円)	282,560 (35.2%増)	755 (99.7%減)
定額年金保険	新契約件数	(件)	231 (—)	67 (71.0%減)
	金額(収入保険料)	(百万円)	1,322 (—)	371 (71.9%減)

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※括弧内は前年同期比増減率であります。

			2010年3月期	2011年3月期
一時払終身保険	新契約件数	(件)	— (—)	2,964 (—)
	金額(収入保険料)	(百万円)	— (—)	19,709 (—)
一時払養老保険	新契約件数	(件)	— (—)	— (—)
	金額(収入保険料)	(百万円)	— (—)	— (—)

※一時払養老保険の取り扱いはありません。

			2010年3月期	2011年3月期
全面解禁商品	新契約件数	(件)	— (—)	— (—)
	金額(収入保険料)	(百万円)	— (—)	— (—)

※全面解禁商品の取り扱いはありません。

その他質問項目（2011年3月期）

○東日本大震災に関する保険金・給付金等支払額見込み

保険金・給付金等支払額見込み	約2億円
----------------	------

○東日本大震災に関する対応

<p>1. 被災されたお客さまへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害死亡保険金等の全額支払い ・ 保険料払込猶予期間の延長（最長平成23年12月末まで） ・ 保険金・給付金、契約者貸付金の簡易迅速なお支払い ・ 契約者貸付（新規貸付）利率引き下げによる利息の減免 ・ 入院治療の特別取扱 ・ 保険契約の失効に関する特別措置 <p>2. 被災されたお客さまへのアウトバウンドコール等の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安否確認のアウトバウンドコール実施 ・ 特別取扱をご案内するダイレクトメールの発送 ・ 安否確認訪問活動の実施 アウトバウンドコール及び発送郵便物の不着によって安否が判明していないお客さまの安否確認と特別取扱の説明を現地調査により実施 <p>3. 被災地域への支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義援金の寄贈 <p>4. 生命保険協会主導での主な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害地域生保契約照会制度に基づく被災者の契約有無の確認 ・ 生命保険協会で共有化された生保各社の支払データに基づく契約有無の確認
--

○「不払い問題」に対する主な再発防止策

<p>業務改善に向けた取組みの実施状況</p> <p>1. 新たに実施した取組みの状況 ※2010年7月1日以降、同年12月31日まで</p> <ol style="list-style-type: none"> ① お客さまにとってわかりやすいご通知文書の作成 ② 請求書類受付業務の集約化 <p>2. 継続的な取組みの状況</p> <ol style="list-style-type: none"> ① お客さまの視点に立った保険金等のお支払いに向けた規程等の整備 ② 「サービス監理委員会」による保険金等のお支払い態勢の監督強化 ③ お客さまの視点に立ったご請求案内に向けた内部監査の強化 ④ 「ご契約内容のお知らせ」による保障内容の定期的なお知らせ ⑤ 「保険金・給付金のお支払いについて」及び「保険金・給付金をお支払いする場合、お支払いできない場合の具体的事例」のご案内 ⑥ 保険金等の請求・照会窓口の一元化及びお客さまへのきめ細やかな保全案内 ⑦ 失効したご契約等に対するお客さま利便向上策の実施 ⑧ お客さまがご契約された当社保険商品について複数の保険金等の請求を同時に行いやすくするような商品の開発 ⑨ 約款の平明化及び簡素化 <p>※2011年2月10日ホームページ掲載の「保険金等の支払管理態勢等に係る業務改善に向けた取組み、及びその成果について」より抜粋</p>
--

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2010年3月期	2010年9月期	2011年3月期
変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	△ 227	183	113
相場変動に起因する繰入額	(億円)	△ 348	183	113
新契約高に対応する繰入額	(億円)	120	0	0

※戻入についてはマイナスで表示しております。

以上